
**【クレジットカードに関する総合調査】
2015年度版 調査結果レポート**

株式会社ジェーシービー

JCBでは2000年以降、毎年、消費者の皆様(JCB会員・非会員を含む)を対象としてクレジットカードの利用に関する消費活動についての実態を把握することを目的とした調査を実施してまいりました。

この度、本年実施の調査結果がまとまりましたので「クレジットカードに関する総合調査2015年度版」をご報告いたします。本資料では、クレジットカード市場(保有・利用実態)について調査を実施し、その結果をまとめております。

本資料を、消費動向を把握する上での一つの素材として、社会的な分析にご利用いただければ幸いです。

今後も、JCBは、本調査を通して、多様化する個人消費市場に対応し、サービスの拡充に取り組んでまいります。

目次

I. 調査設計 -----	3
II. 結果の概要 -----	4
1. クレジットカード保有率	5
2. クレジットカード保有・携帯枚数	6
3. クレジットカード利用頻度	7
4. クレジットカード利用金額	8
5. 保有クレジットカードごとの利用理由	9
6. クレジットカード利用業種	11
7. 支払いの際のクレジットカード利用割合	14
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額	16
9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況	17
10. 電子マネーの利用状況	18
11. デビットカードの利用状況	19

I. 調査設計

- 調査時期 : 2015年 11月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 3,500人 (20代から60代の男女、学生を含む)
※登録型モニターへの依頼・アンケート回答任意

当報告書における表示内容と注意点

当報告書では、本年度(2015年度)の調査結果を中心に、2011年度～2014年度との比較を含めて作成しております。

<回収サンプル数>

		20代	30代	40代	50代	60代	小計	全体				
全体	男性	331	383	323	386	317	1740	3500	全体	3500		
	女性	322	378	322	396	342	1760					
北海道	男性	27	29	27	34	27	144	300	北海道	300		
	女性	27	31	29	38	31	156					
東北	男性	14	14	15	18	14	75	150	東北	150		
	女性	13	14	15	18	15	75					
北関東	男性	14	16	14	18	14	76	150	首都圏	1050		
	女性	13	15	14	18	14	74					
首都圏	男性	92	111	85	93	79	460	900				
	女性	84	103	79	92	82	440					
甲信越・北陸	男性	13	16	14	18	14	75	150			甲信越・北陸	150
	女性	13	15	14	18	15	75					
愛知	男性	30	37	28	31	27	153	300	東海圏	450		
	女性	28	34	26	31	28	147					
東海 その他	男性	14	16	14	17	14	75	150				
	女性	13	16	14	17	15	75					
近畿	男性	46	55	43	53	47	244	500	近畿圏	650		
	女性	47	57	45	56	51	256					
近畿 その他	男性	13	15	14	17	14	73	150				
	女性	14	16	14	18	15	77					
中国	男性	13	15	14	18	14	74	150	中国・四国	300		
	女性	13	15	14	18	16	76					
四国	男性	12	15	14	18	14	73	150				
	女性	13	15	14	19	16	77					
福岡	男性	30	30	26	33	26	145	300	九州圏	450		
	女性	30	32	28	36	29	155					
九州 その他	男性	13	14	15	18	13	73	150				
	女性	14	15	16	17	15	77					

(実数)

- 集計方法 : ウェイトバック集計 (回収したサンプルを市場ボリュームに換算して集計を行う)
各サンプルに、母集団^(※)と回収サンプル数から割り出した「ウェイトバック値」を掛け合わせて集計サンプルを算出
<※>2010年国勢調査確定値を用いた

	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	愛知	東海 その他	近畿	近畿 その他	中国	四国	福岡	九州 その他	TOTAL
母集団	3,587,238	5,824,419	4,535,954	24,257,142	5,274,090	4,894,255	4,916,458	11,175,216	2,428,292	4,713,990	2,454,081	3,278,011	5,839,470	83,178,616
母集団比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%
回収数	300	150	150	900	150	300	150	500	150	150	150	300	150	3500
回収比率	8.6%	4.3%	4.3%	25.7%	4.3%	8.6%	4.3%	14.3%	4.3%	4.3%	4.3%	8.6%	4.3%	100%
ウェイトバック値	0.503	1.634	1.272	1.134	1.479	0.686	1.379	0.940	0.681	1.322	0.688	0.460	1.638	
ウェイトバック後サンプル	151	245	191	1,021	222	206	207	470	102	198	103	138	246	3,500
ウェイトバック後比率	4.31%	7.00%	5.45%	29.16%	6.34%	5.88%	5.91%	13.44%	2.92%	5.67%	2.95%	3.94%	7.02%	100%

掛け合わせる

■ クレジットカードの保有率は84%。平均保有枚数は3.2枚。

クレジットカード保有率は2011年から減少傾向がみられ、2015年は84%であった。

20代の保有率は男女ともに他の年代と比べて低く、80%を下回る。

一人あたりの保有枚数は平均3.2枚で、昨年より減少。また、携帯枚数（実際に持ち歩くクレジットカードの枚数）は平均2.0枚で、こちらも昨年より減少している。

■ 最も利用が多いクレジットカードは、利用頻度・金額ともに微減。

1番多く利用しているクレジットカードは、1ヶ月あたり平均5.6回、5.1万円利用されている。利用頻度は昨年から大きく変わらないが、金額は減少している。

2番目に利用しているクレジットカードでは、1ヶ月あたりの平均利用頻度・金額ともに昨年から横ばい。

■ 「入会金・年会費の安さ」や「ポイント・マイル」など利得性が重視されている。

1番多く利用するクレジットカードを利用する主な理由は、「入会金・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）（53%）」、「ポイントやマイルが貯めやすいから（52%）」が5割を超える。

2番目に多く利用するクレジットカードも、1番多く利用するカードと同様の理由が高く、「入会費・年会費」や「ポイント・マイル」はクレジットカード利用の重要な要素となっている。

その他、「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる」「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがある」という理由も高く、普段から接点のある場所でのサービスが、クレジットカード利用を促進させていると考えられる。

■ カード利用が多い業種は「オンラインショッピング」、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」、「コンビニエンスストア」でのカード利用は増加傾向にある。

クレジットカードで支払いを行っている業種は、「オンラインショッピング（36%）」、「携帯電話（29%）」、「スーパーマーケット（25%）」が多い。日常的な買い物でカードは利用されている。「コンビニエンスストア」では2013年からカード利用が増加している。

■ 世帯あたりの月平均生活費は17.7万円。月平均カード利用額は5.3万円。生活費の3割はカードで支払われている。

世帯あたりの月平均生活費は17.7万円。昨年比で1万円減少している。月平均カード利用額は5.3万円で、2011年から減少傾向にある。

■ 電子マネーの保有率は80%、利用率は66%。

電子マネーは保有率80%、利用率66%で、昨年と比較して大きな変化はみられない。電子マネーの利用業種は「鉄道・地下鉄・バス」や「コンビニエンスストア」が多い。

■ デビットカードの保有率は13%、利用率は6%。

デビットカードは保有率13%と昨年より減少。利用率は6%で、2013年から僅かに上昇傾向がみられる。主なデビットカードの入会理由は「金融機関のキャッシュカードについてきたため（55%）」であった。

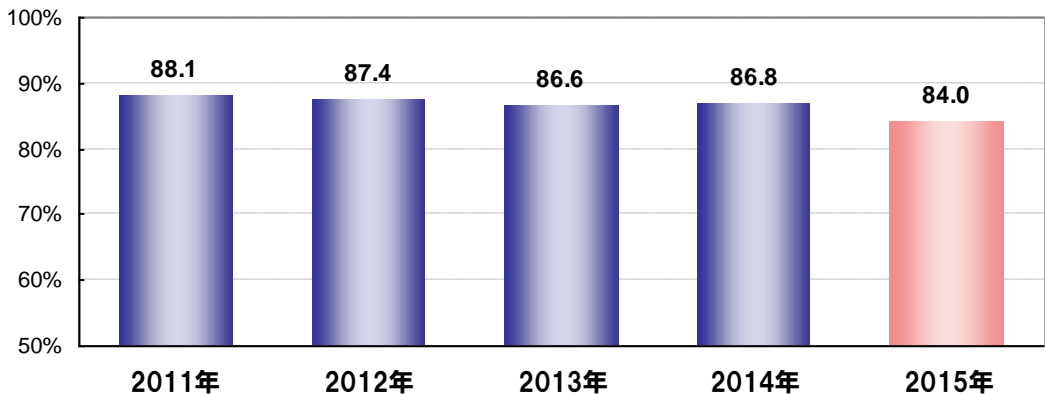
1. クレジットカード保有率

クレジットカードの保有率・保有枚数ともに、2011年から減少傾向。

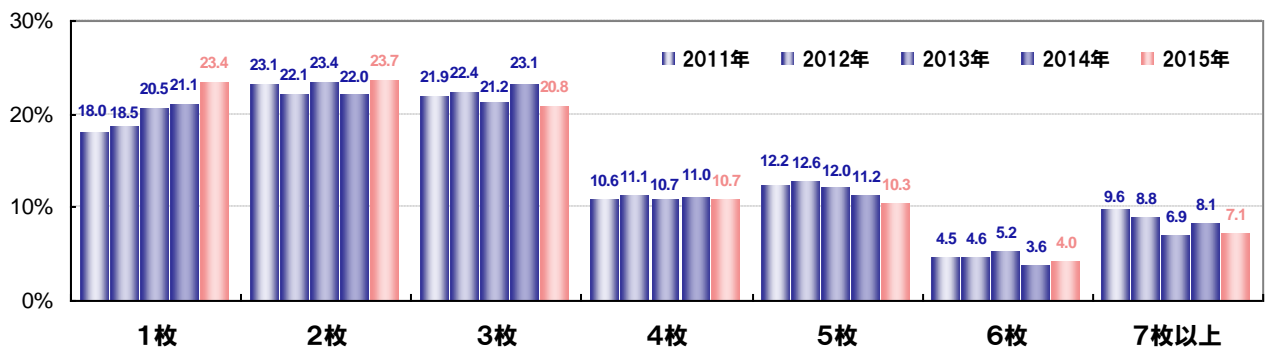
- ・クレジットカード保有率は84.0%。保有率は、2011年から減少傾向にある。
- ・保有枚数は「1枚」が増加しており、「1枚」～「3枚以下」が全体の7割を占める。保有枚数も減少傾向にある。

■ クレジットカード保有率【経年】(N=3500)

※無効回答を除く



■ クレジットカード保有枚数【経年】(クレジットカード保有者のみで集計)

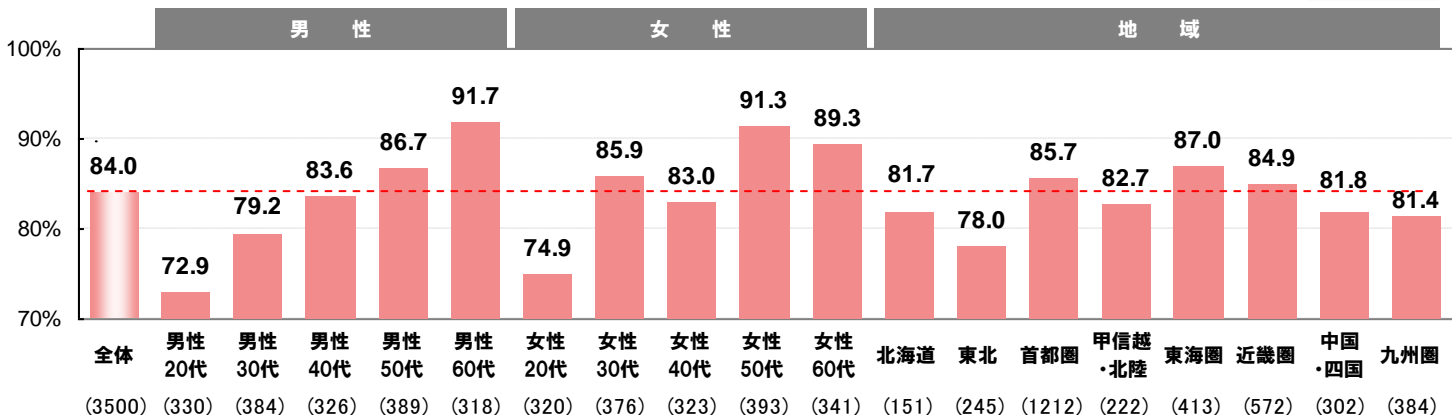


20代のクレジットカード保有率は低い。女性の保有率は全般的に男性より高い。

- ・年代別に見ると、20代のクレジットカード保有率は男性72.9%、女性74.9%でいずれも低い。
- ・男女別では、男性60代、女性50代の保有率が9割を超えて高い。地域別では、東海圏の保有率が87.0%と最も高く、東北が78.0%で最も低い。

■ クレジットカード保有率【属性別】(N=3500)

2015年

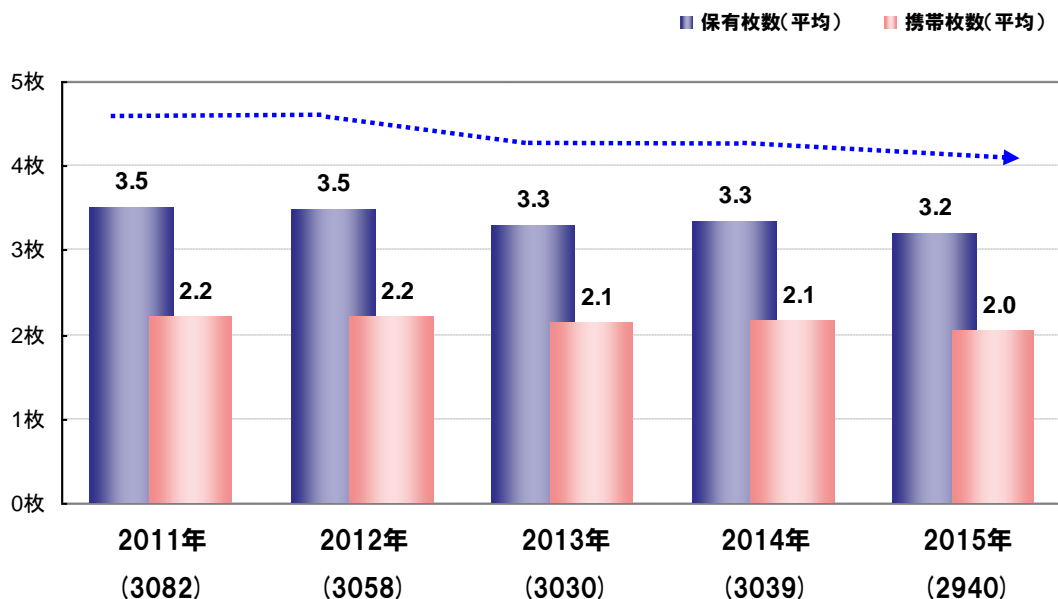


2. クレジットカード保有・携帯枚数

平均保有枚数は3.2枚、平均携帯枚数は2.0枚。ともに2011年から微減傾向。

- クレジットカードの平均保有枚数は3.2枚。大きな変化でないが、2011年から微減傾向がみられる。
- 携帯枚数(持ち歩いているクレジットカードの枚数)は平均2.0枚。保有枚数と同様に、2011年から僅かな減少傾向がみられる。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数 (N=2940:クレジットカード保有者) 【2015年】

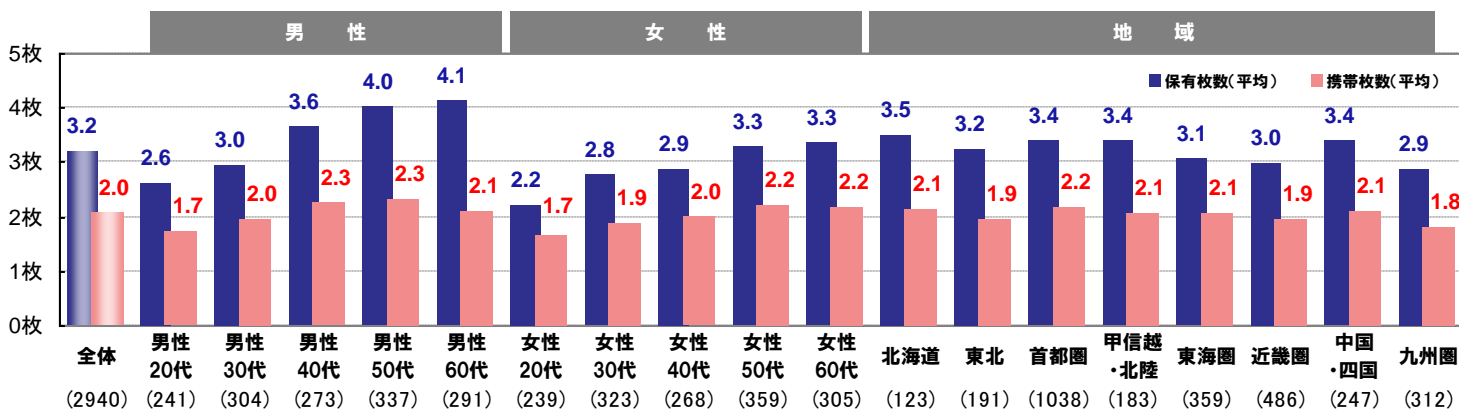


平均保有枚数は男性、50～60代が多い。平均携帯枚数は性別や年代で大きな差はみられない。

- 保有枚数は女性より男性が多い。年齢が上がるほど保有枚数は多くなり、男性50～60代の保有枚数は4枚以上で高い。一方で、男女20代、女性30代は3枚に満たない。地域別では、九州圏が3枚に満たない。
- 携帯枚数は性別・年代別で大きな差はみられないが、男女20代、女性30代、東北、近畿圏、九州圏はやや少ない。

■ クレジットカード平均保有枚数 / 携帯枚数【属性別】

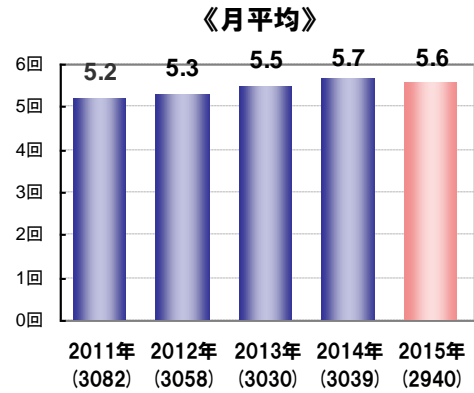
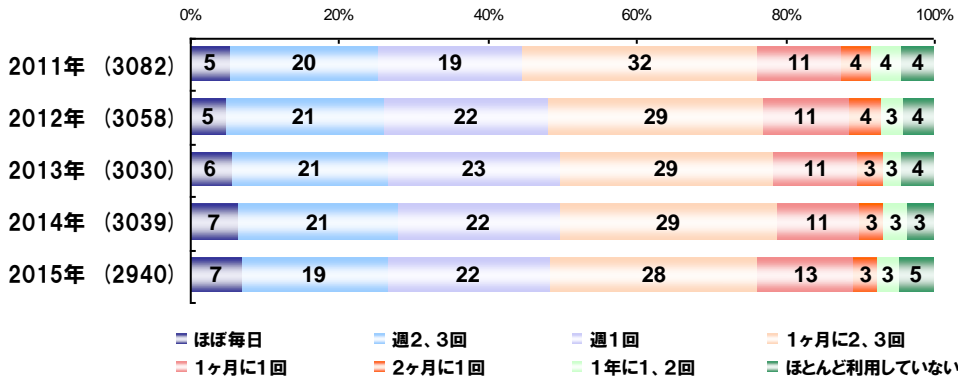
2015年



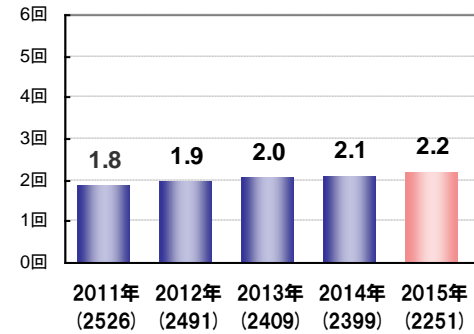
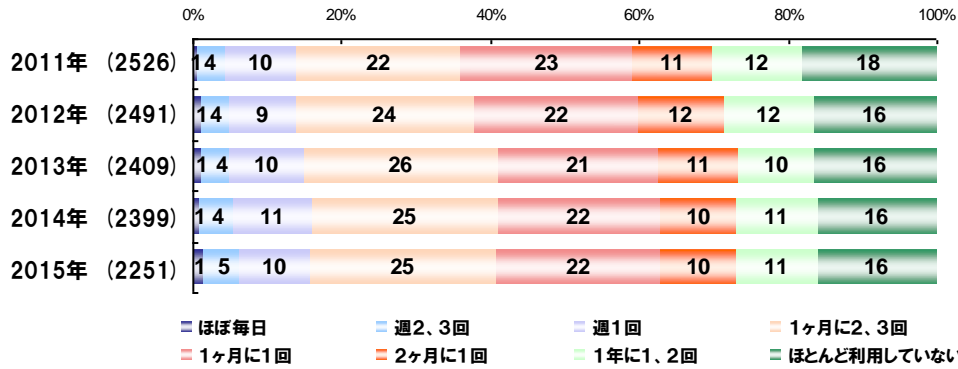
3. クレジットカード利用頻度

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用頻度は5.6回。
1番目、2番目ともに昨年から大きな変化はみられないが、2011年からは微増傾向。

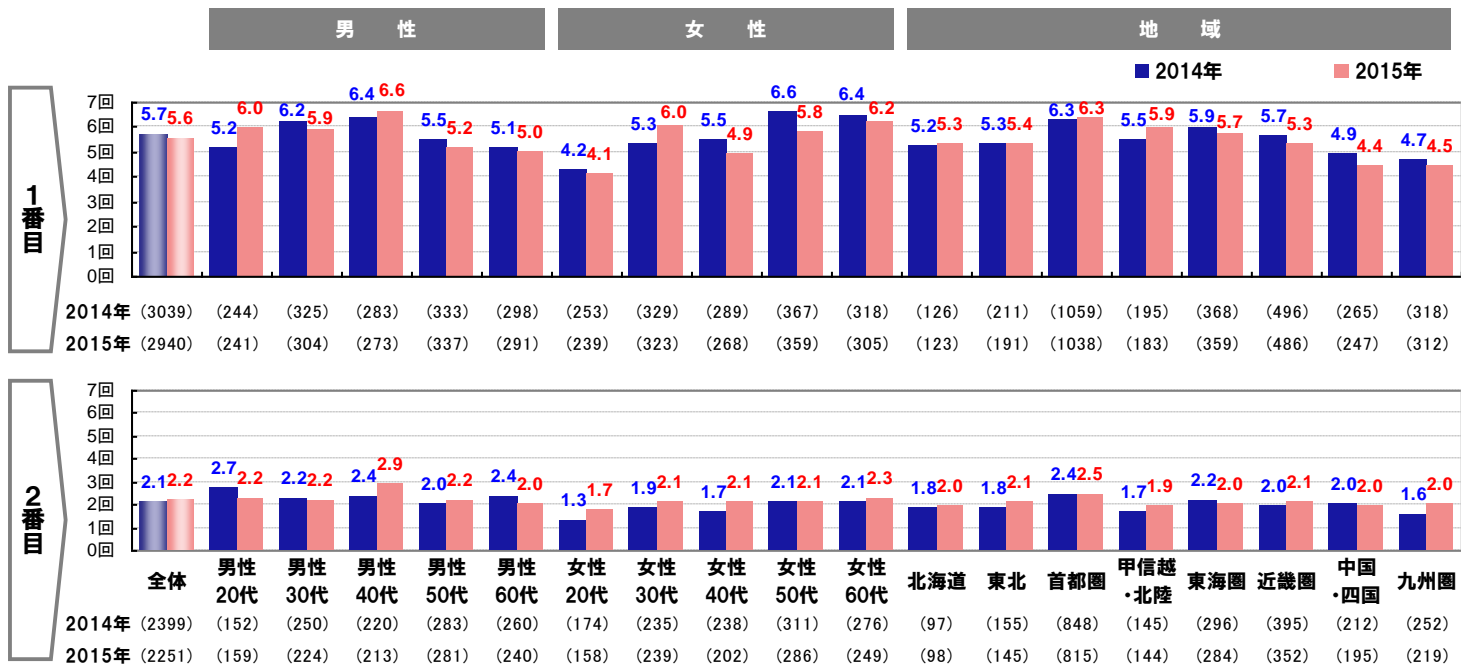
【1番多く使うカード(N=2940)】



【2番目に多く使うカード(N=2251)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用頻度／月



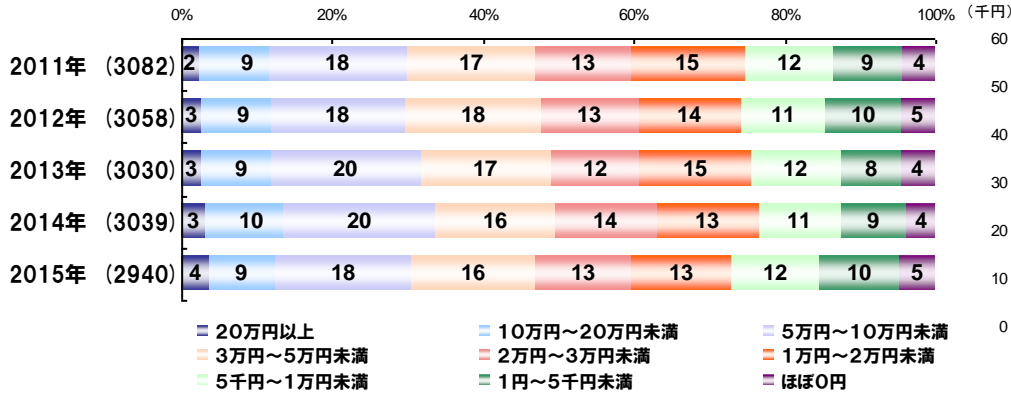
※利用頻度の定義: 本報告書における利用頻度は、下記の選択肢に対して、具体的な利用頻度を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	ほぼ毎日	週2、3回	週1回	1ヶ月に2、3回	1ヶ月に1回	2ヶ月に1回	1年に1、2回	ほとんど利用していない
定義	週に5.5日	週に2.5日	週に1日	月に2.5日	月に1日	2ヶ月に1日	1年に2日	使用していない
年間利用回数推定	286回	130回	52回	30回	12回	6回	2回	0回

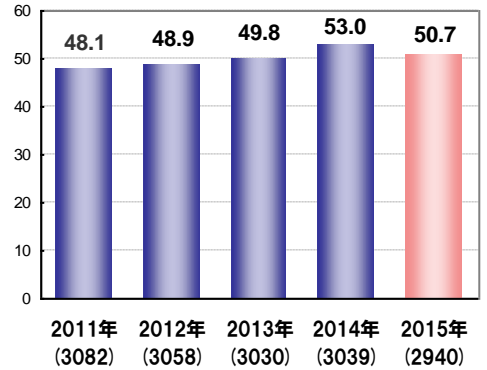
4. クレジットカード利用金額

「1番多く使う」クレジットカードの月平均利用金額は5.1万円。昨年から減少している。

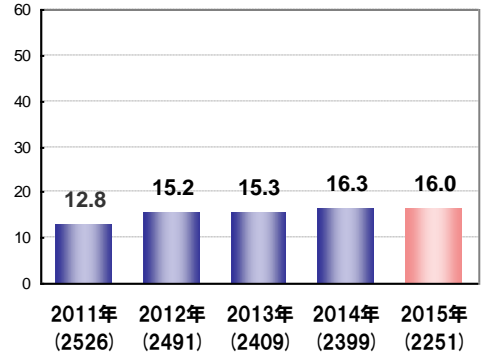
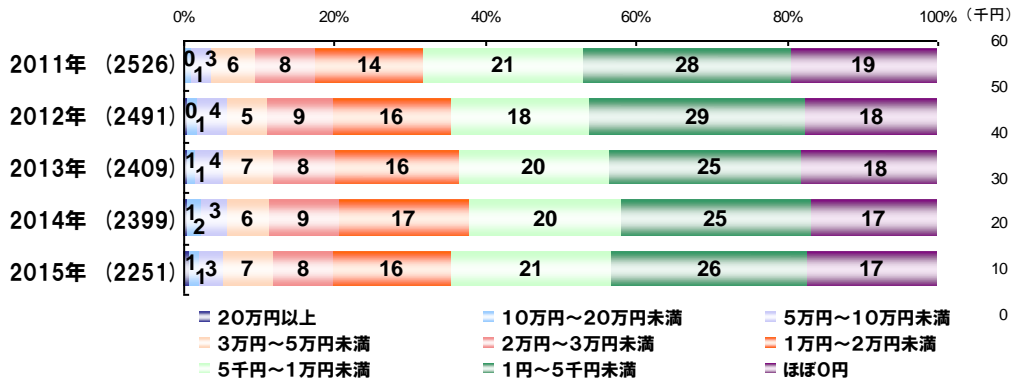
【1番多く使うカード(N=2940)】



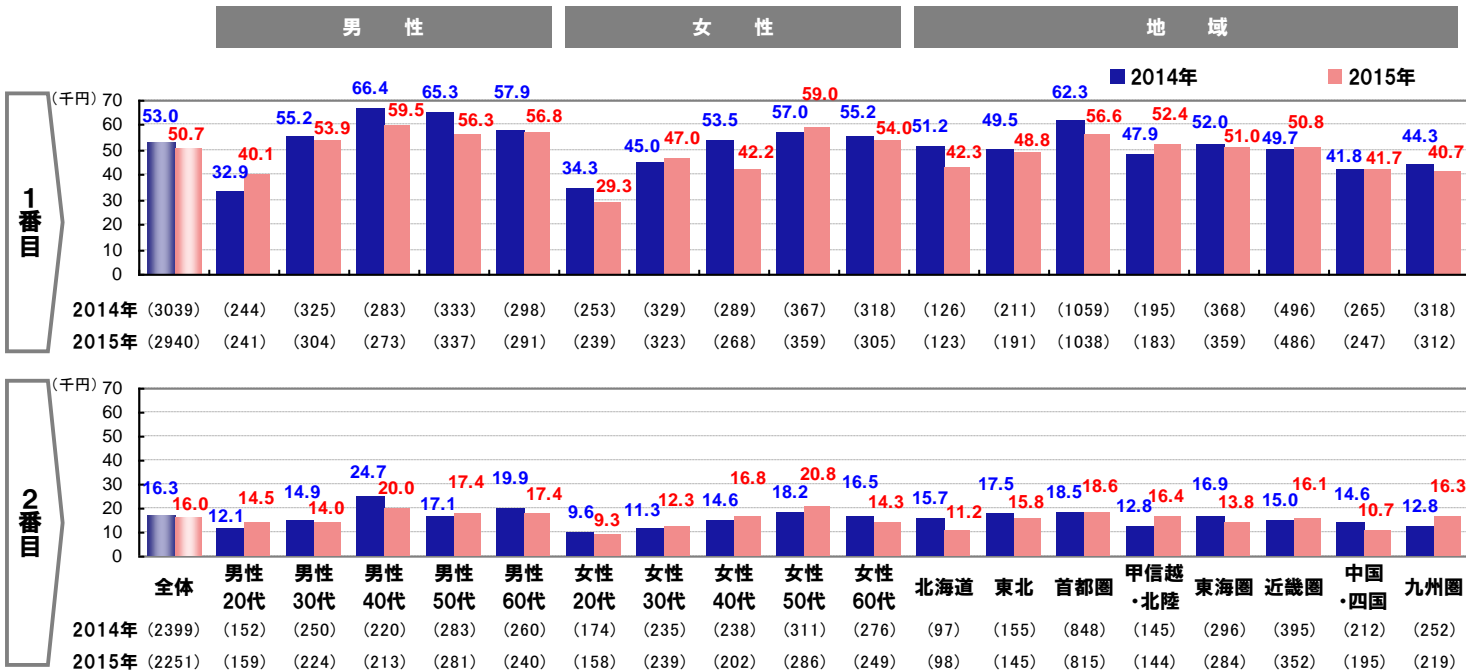
《月平均》



【2番目に多く使うカード(N=2251)】



■ 1番・2番目に多く使うカードの属性別 平均利用金額/月



※利用金額の定義: 本報告書における利用金額は、下記の選択肢に対して、具体的な利用金額を定義し、その平均値を算出したものである

選択肢	20万円以上	10万円~20万円未満	5万円~10万円未満	3万円~5万円未満	2万円~3万円未満	1万円~2万円未満	5千円~1万円未満	5千円未満	ほぼ0円
年間利用金額推定	300,000円	150,000円	75,000円	40,000円	25,000円	15,000円	7,500円	2,500円	0円

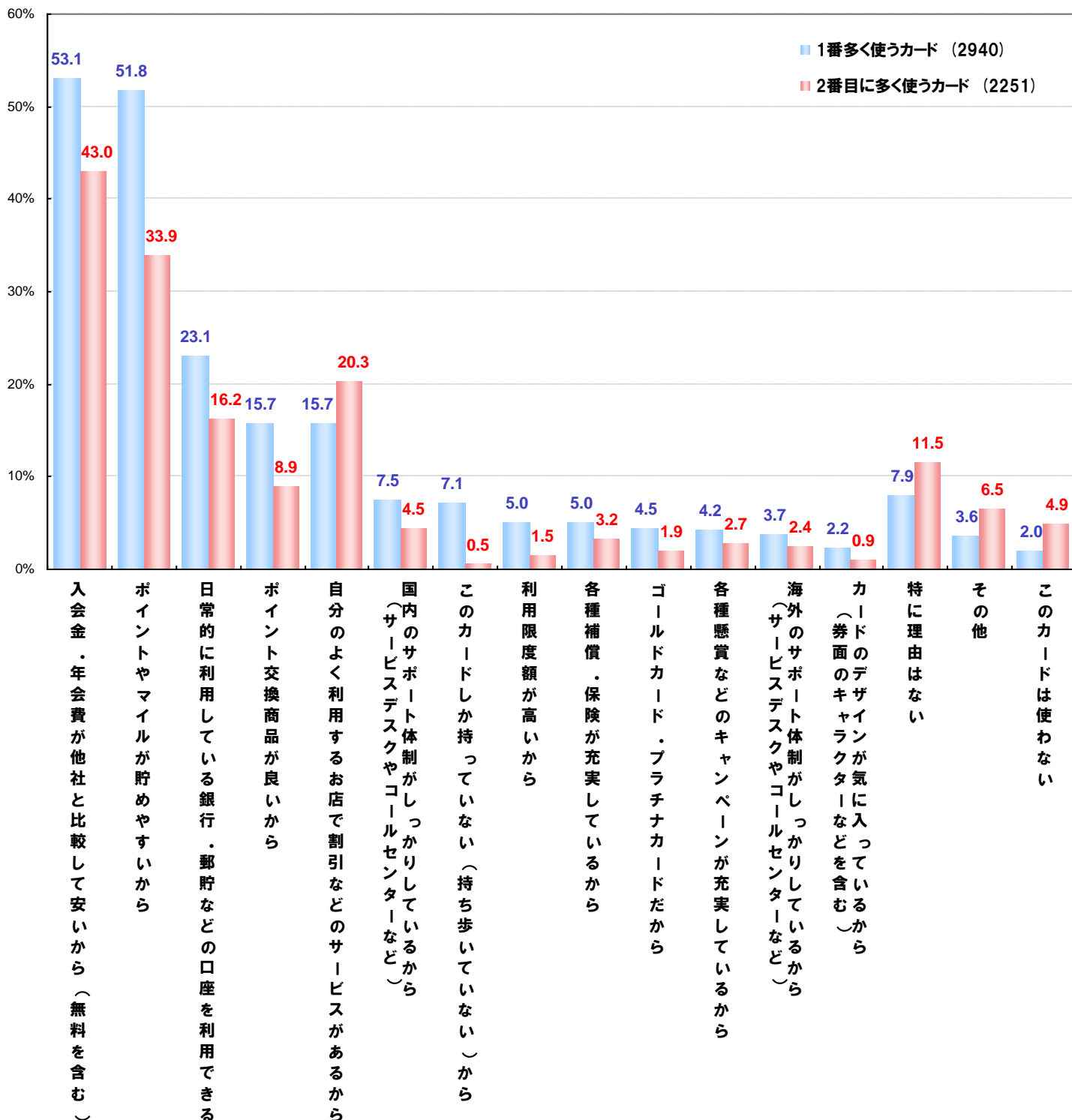
なお、後述する世帯における利用金額は、選択肢ではなく数値回答であるため、そのまま平均値を算出した

5. 保有クレジットカードごとの利用理由

1番多く使うクレジットカードの主な利用理由は、「入会金・年会費が他社と比較して安いから」と、「ポイントやマイルが貯めやすいから」。

- ・1番多く使うクレジットカードの利用理由としては「入会金・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）（53.1%）」、「ポイントやマイルが貯めやすいから（51.8%）」が5割を超えて高い。次いで「日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる（23.1%）」が続く。
- ・2番目に多く使うカードも1番多く使うカード同様、「入会金・年会費が他社と比較して安いから（無料含む）（43.0%）」が最も高く、次いで「ポイントやマイルが貯めやすいから（33.9%）」、「自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから（20.3%）」が2割を超えて高い。

■ クレジットカード発行会社の利用理由

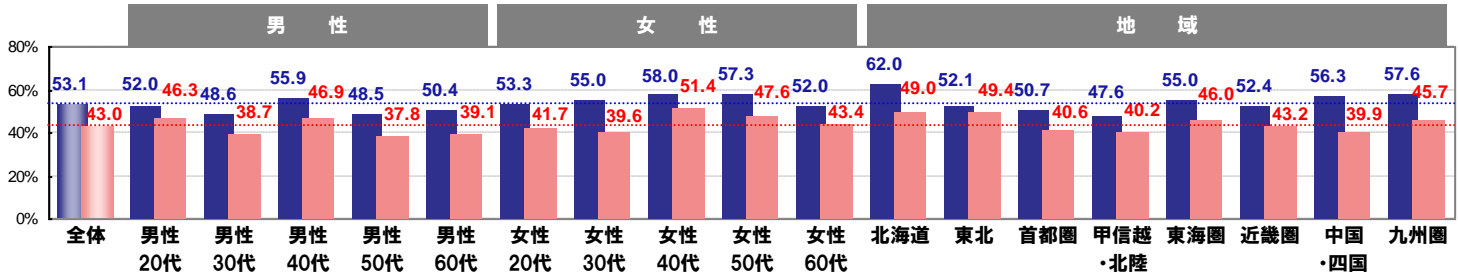


「入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料含む)」は男女40代が高く、
「ポイントやマイルが貯めやすいから」は男女30代が高い。

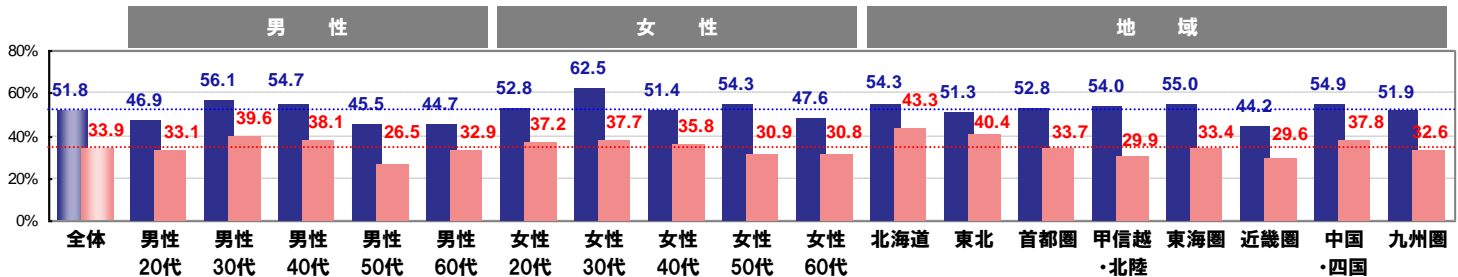
■ クレジットカード発行会社の利用理由(属性別) 上位5項目

■ 1番多く使うカード
■ 2番目に多く使うカード

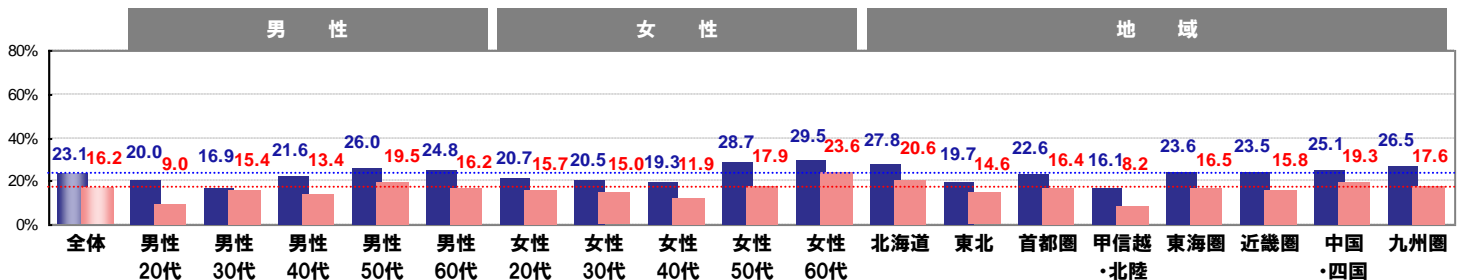
入会金・年会費が他社と比較して安いから(無料を含む)



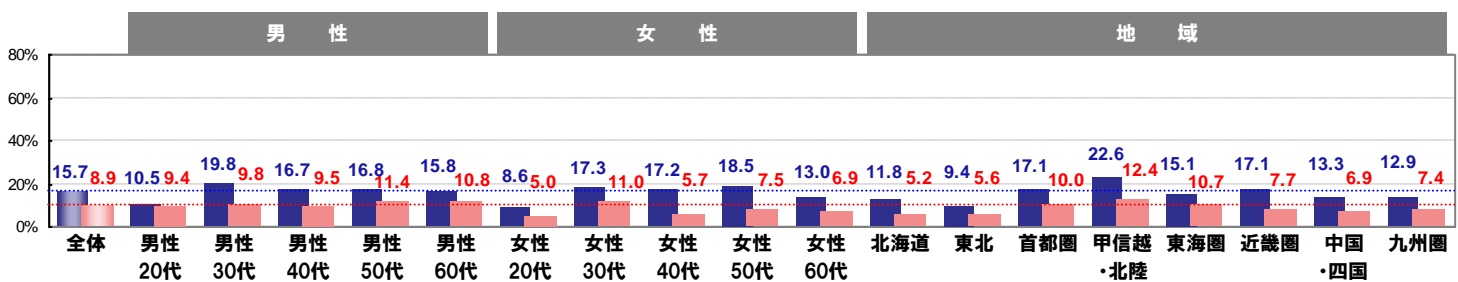
ポイントやマイルが貯めやすいから



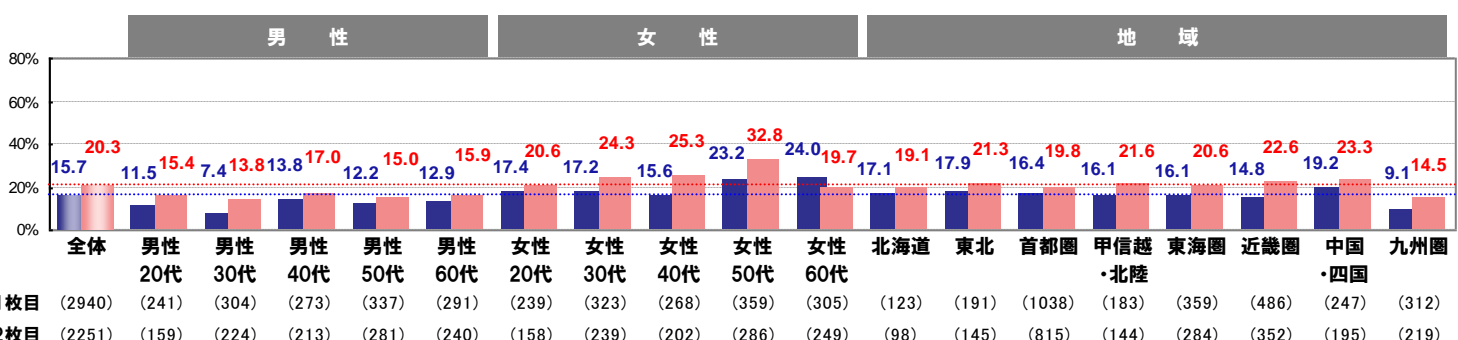
日常的に利用している銀行・郵貯などの口座を利用できる



ポイント交換商品が良いから



自分のよく利用するお店で割引などのサービスがあるから



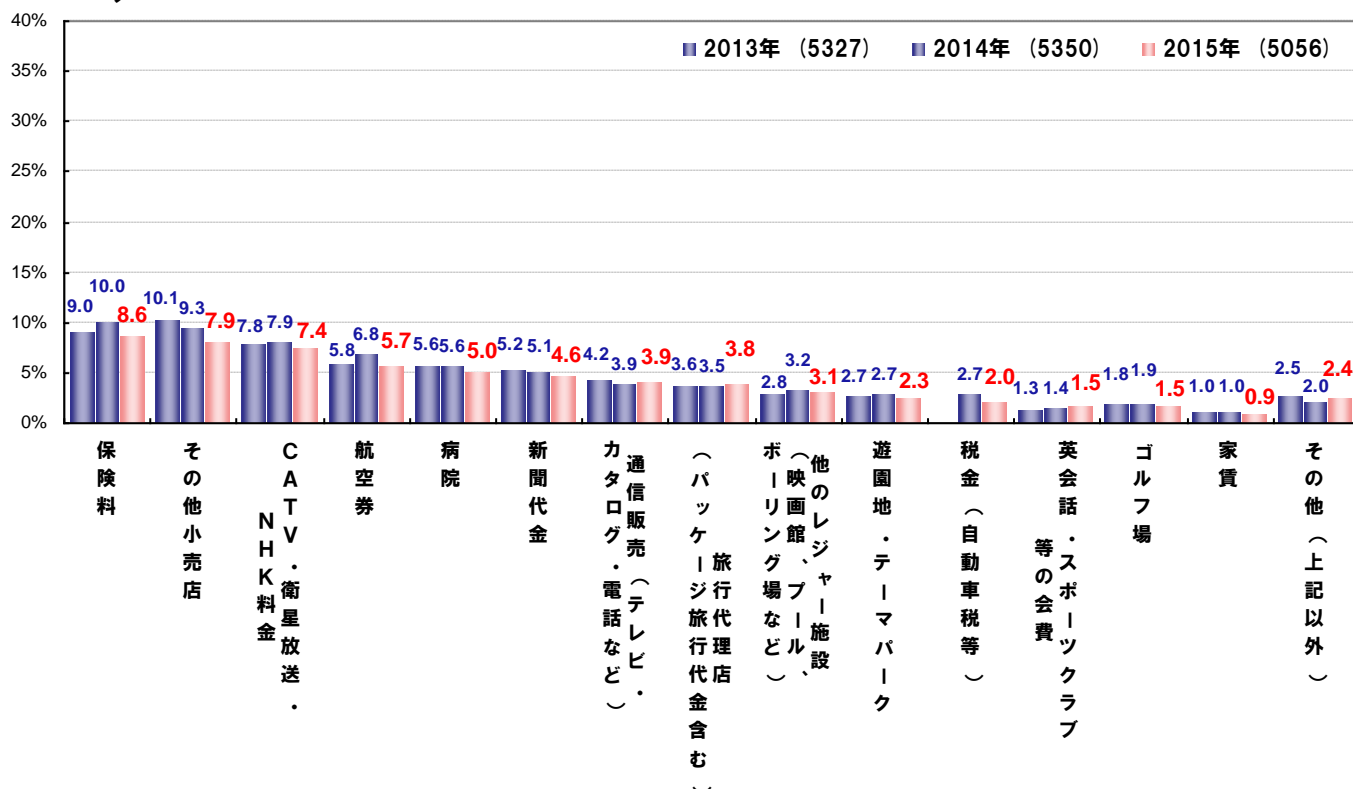
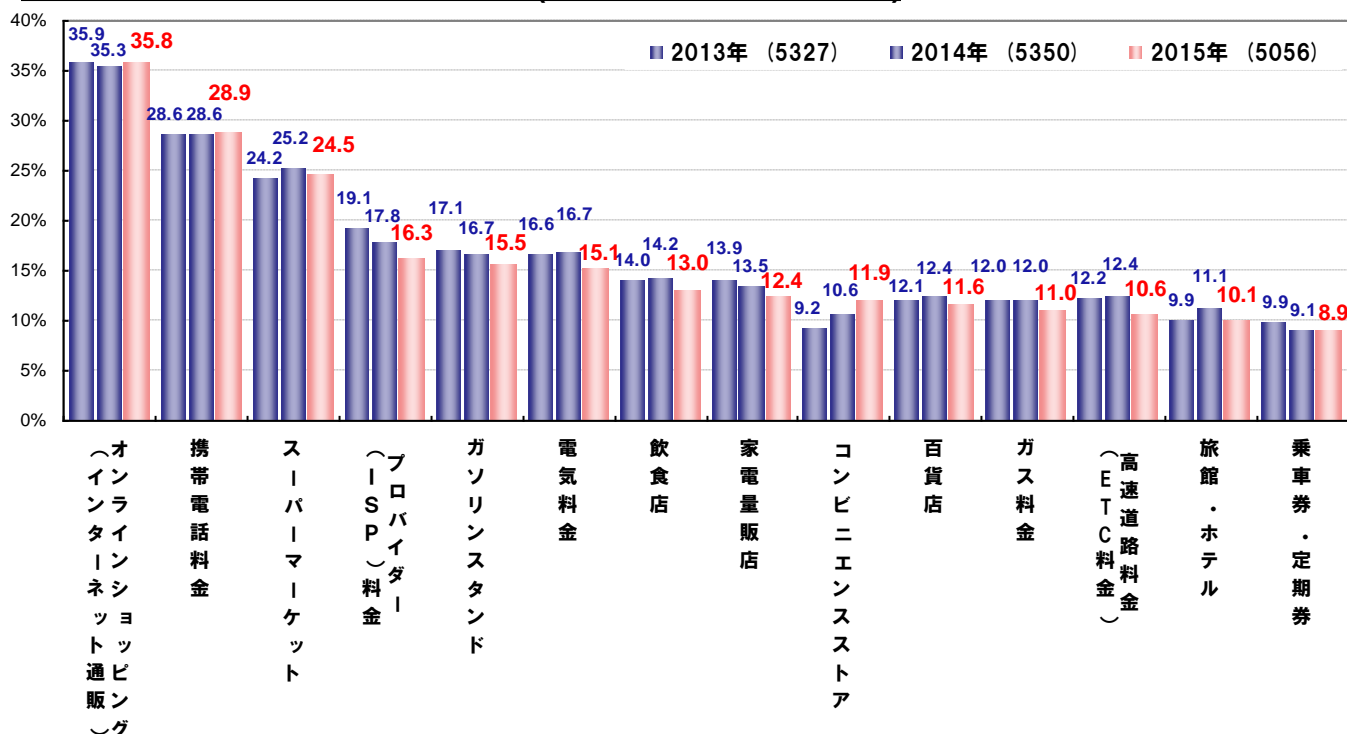
1枚目 (2940) (241) (304) (273) (337) (291) (239) (323) (268) (359) (305) (123) (191) (1038) (183) (359) (486) (247) (312)
2枚目 (2251) (159) (224) (213) (281) (240) (158) (239) (202) (286) (249) (98) (145) (815) (144) (284) (352) (195) (219)

6. クレジットカード利用業種

カード利用が高い業種は「オンラインショッピング(インターネット通販)」、「携帯電話料金」、「スーパーマーケット」。「コンビニエンスストア」でのカード利用は、増加傾向がみられる。

- ・クレジットカードを利用している業種は、「オンラインショッピング(インターネット通販)(35.8%)」が最も高い。次いで「携帯電話料金(28.9%)」、「スーパーマーケット(24.5%)」が2割を超えて続く。
- ・「コンビニエンスストア」でのカード利用は増加傾向にある。
- ・「プロバイダー(ISP)料金」、「電気料金」、「高速道路」、「保険料」、「航空券」でのカード利用は昨年比で減少。

■ 過去3ヶ月のクレジットカード利用業種【経年】(N=5056:クレジットカード枚数)



※ここでのクレジットカード利用業種は、クレジットカード枚数(回答者1人あたり複数枚数について回答)をベースとして集計しています。

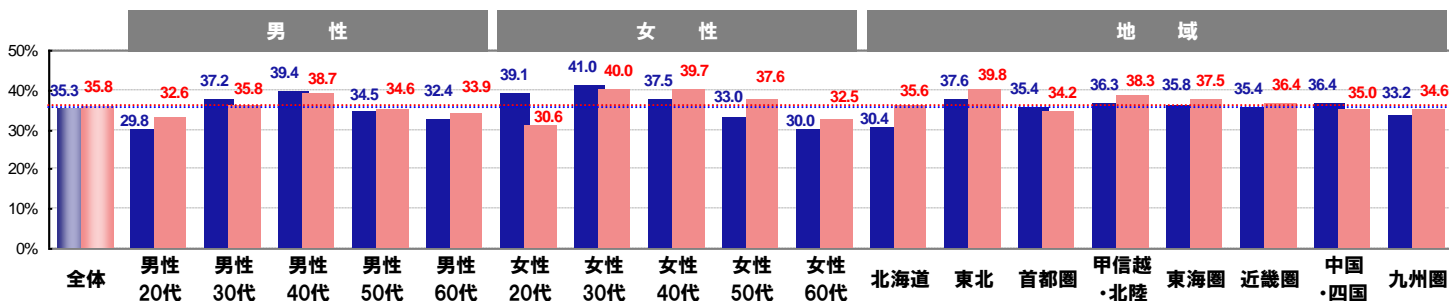
「オンラインショッピング(インターネット通販)」でのカード利用は、男性は40代、女性は30代が高い。
 「携帯料金」は、女性より男性が高い傾向は変わらない。
 「スーパーマーケット」では女性40代以上が高く、甲信越・北陸や東海圏で増加している。

■ クレジットカード利用業種【属性別】

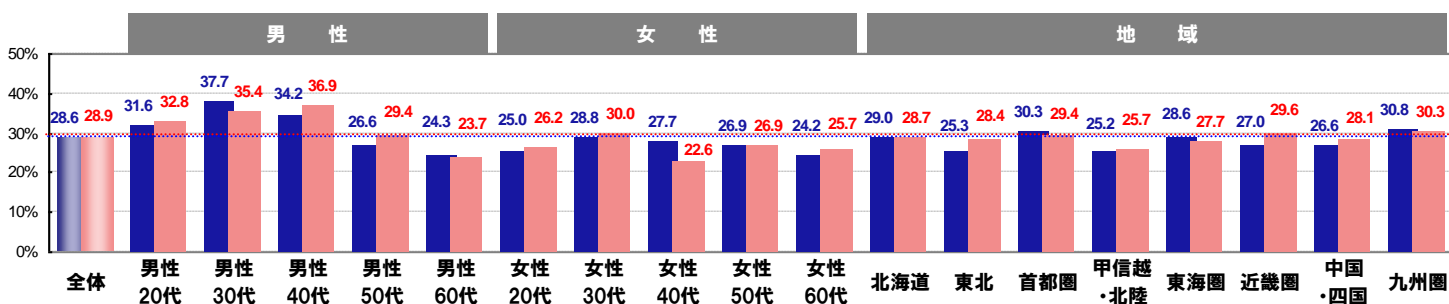
※ここでのクレジットカード利用業種は、全クレジットカード枚数をベースとして集計しています。

オンラインショッピング(インターネット通販)

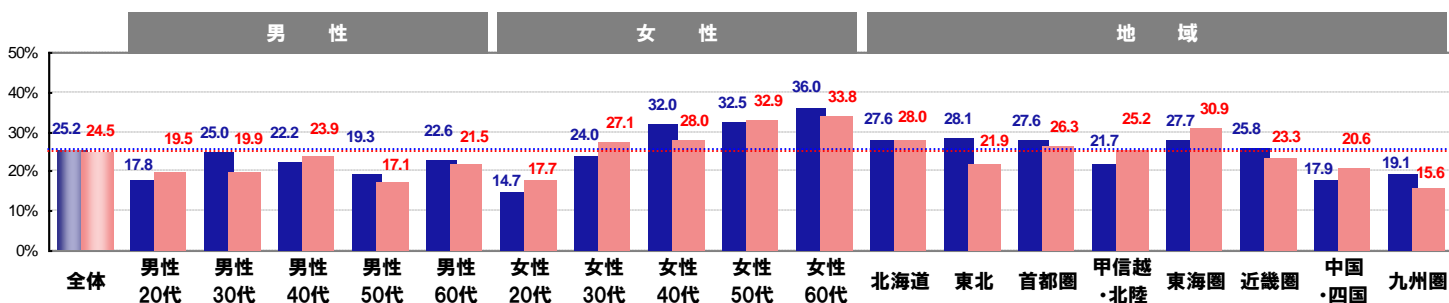
■ 2014年 ■ 2015年



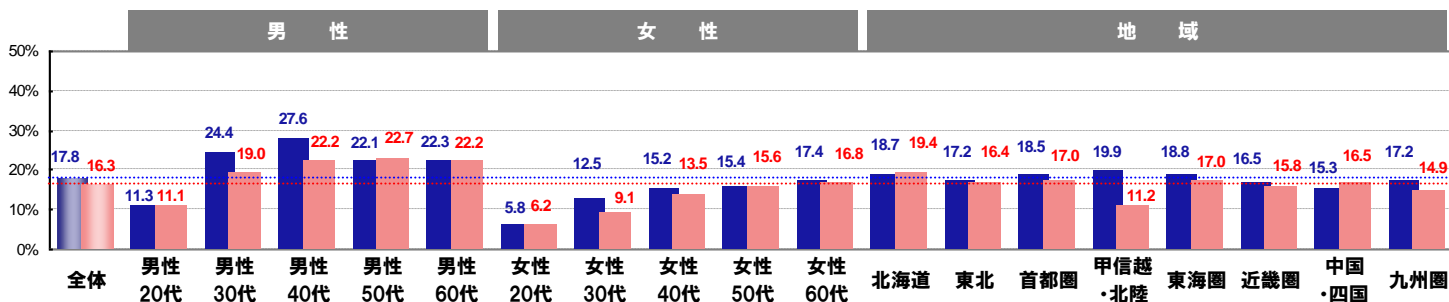
携帯電話料金



スーパーマーケット



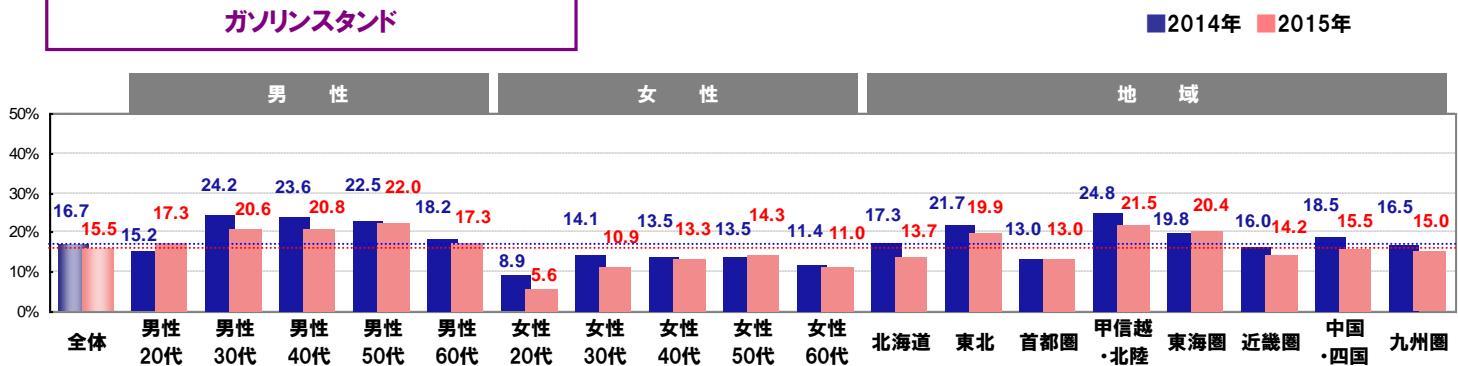
プロバイダー(ISP)料金



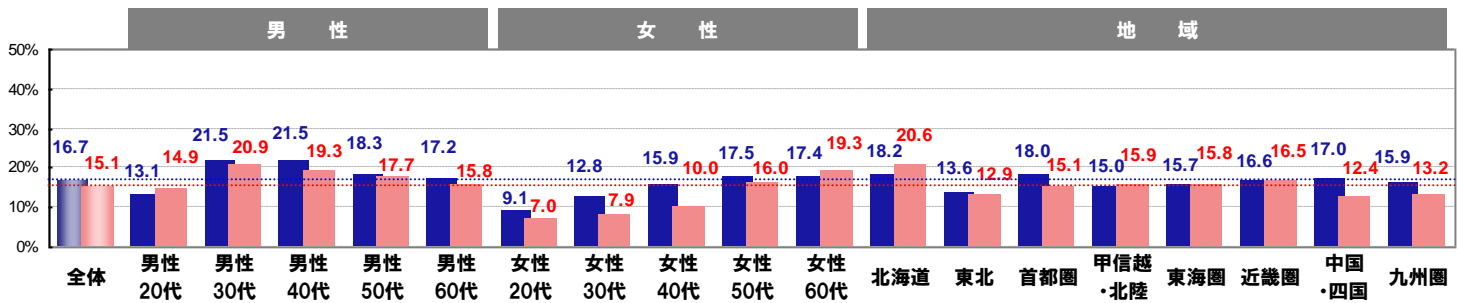
2014年	(5350)	(384)	(562)	(491)	(605)	(553)	(416)	(560)	(521)	(669)	(589)	(218)	(361)	(1881)	(334)	(647)	(873)	(472)	(563)
2015年	(5056)	(390)	(506)	(471)	(609)	(523)	(391)	(542)	(451)	(637)	(537)	(217)	(328)	(1809)	(317)	(618)	(816)	(428)	(523)

「ガソリンスタンド」でのカード利用は全体的に減少しており、北海道、甲信越・北陸、中国・四国での減少が目立つ。
 「電気料金」も全体的に減少。とくに女性30～40代、中国・四国で減少している。

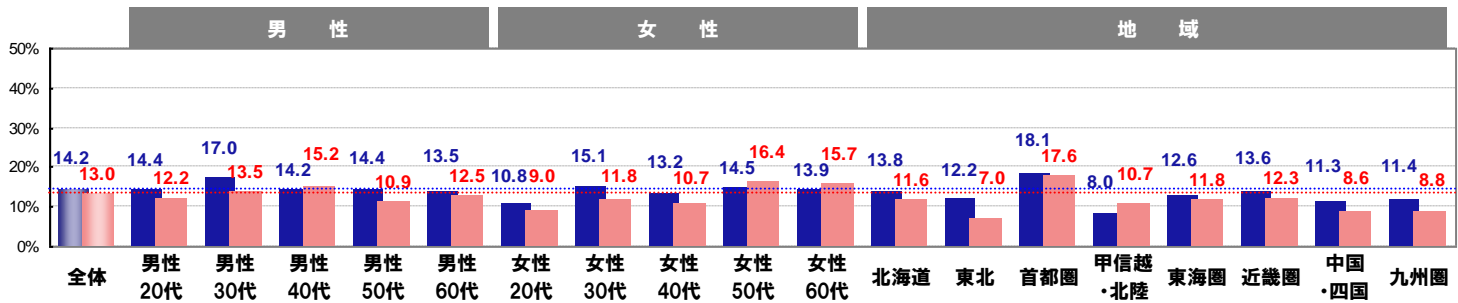
ガソリンスタンド



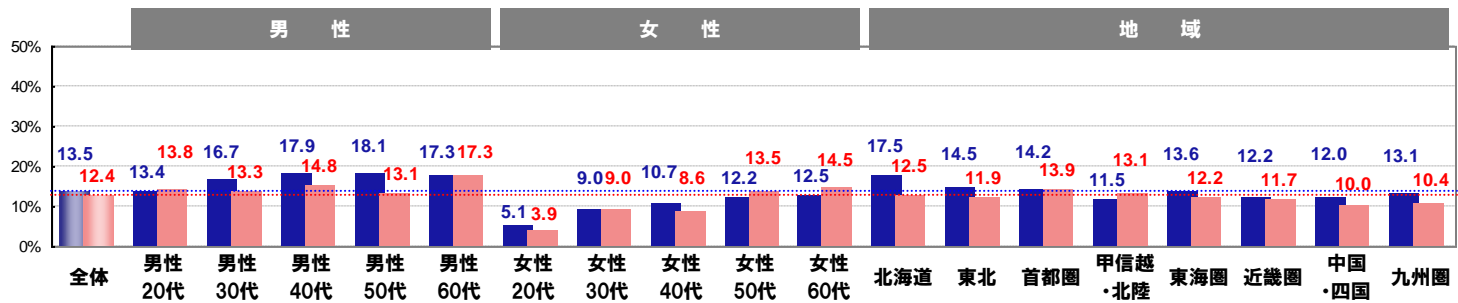
電気料金



飲食店



家電量販店



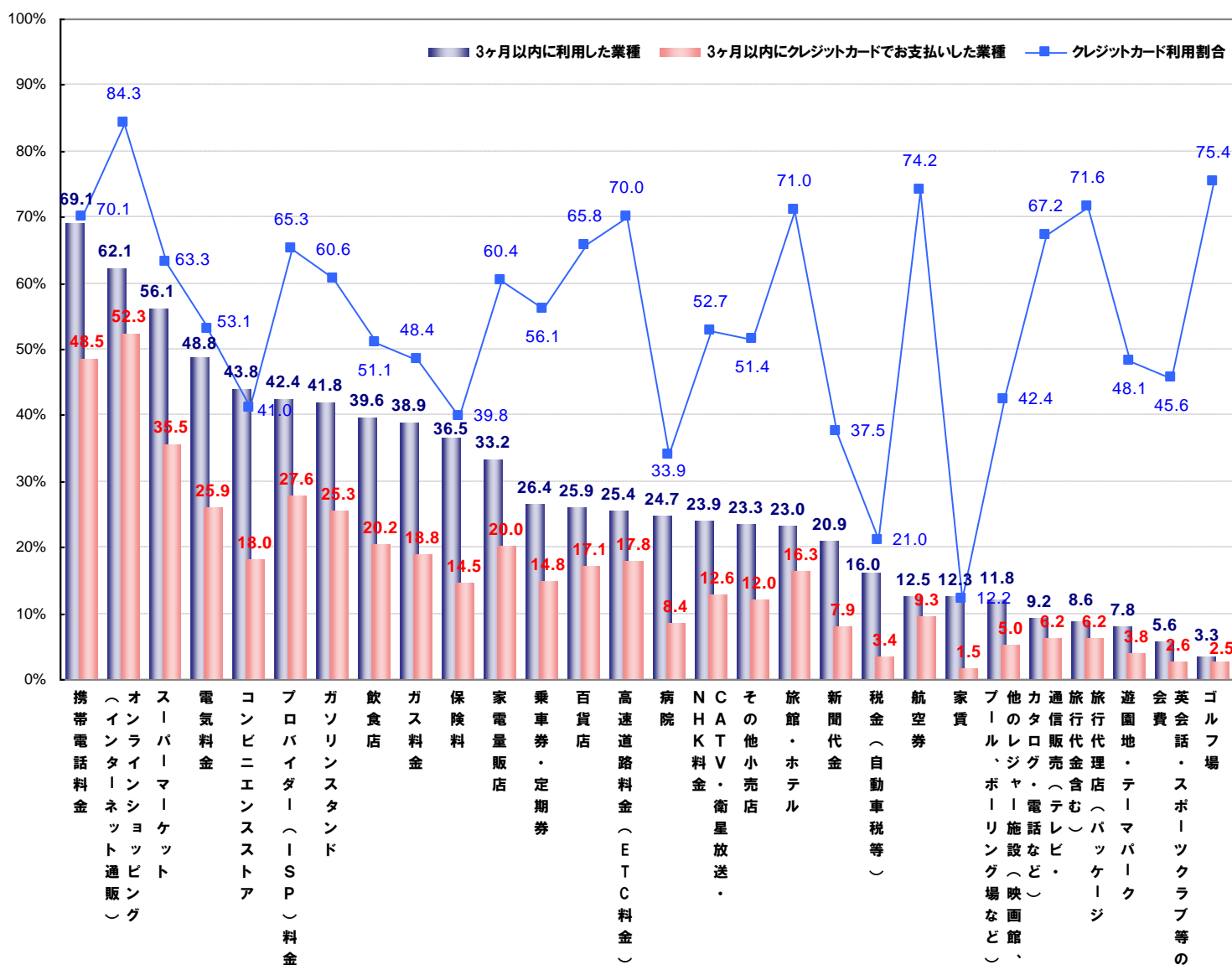
2014年	(5350)	(384)	(562)	(491)	(605)	(553)	(416)	(560)	(521)	(669)	(589)	(218)	(361)	(1881)	(334)	(647)	(873)	(472)	(563)
2015年	(5056)	(390)	(506)	(471)	(609)	(523)	(391)	(542)	(451)	(637)	(537)	(217)	(328)	(1809)	(317)	(618)	(816)	(428)	(523)

7. 支払いの際のクレジットカード利用割合

クレジットカード保有者の5割以上が「オンラインショッピング(インターネット通販)」の支払いでカードを利用している。支払いに占めるクレジットカード利用者の割合も8割を超えて高い。

■ 支払いの際のクレジットカード利用者の割合 (N=2940:クレジットカード保有者)

※ここでの利用業種は、クレジットカード保有者をベースとして集計しているため、前出の「クレジットカード枚数」をベースとした数値とは異なります。



・3ヶ月以内に支払いをした業種・・・クレジットカード、現金等を問わず3ヶ月以内に支払いをした業種

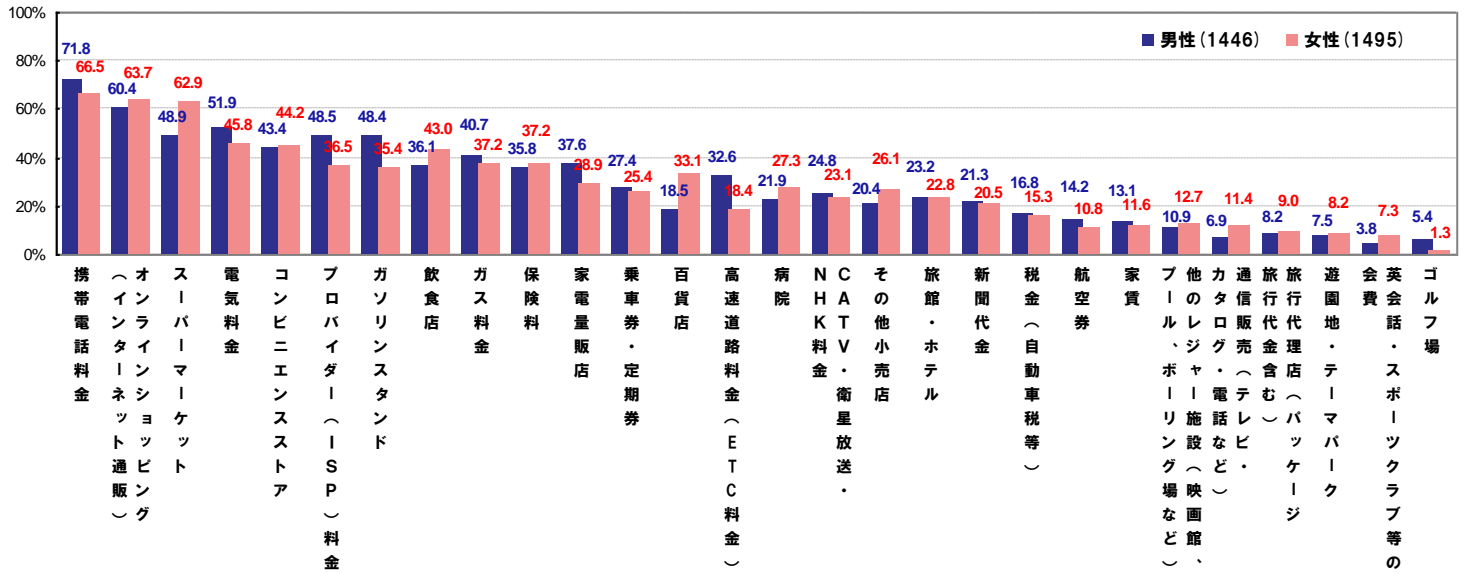
・3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種・・・3ヶ月以内にクレジットカードで支払いをした業種

・クレジットカード利用割合・・・クレジットカード保有者をベースとして、「3ヶ月以内にクレジットカードで利用した」が「3ヶ月以内に支払いをした(クレジットカード、現金等問わず)」の人数に占める割合を%で示したものだ。

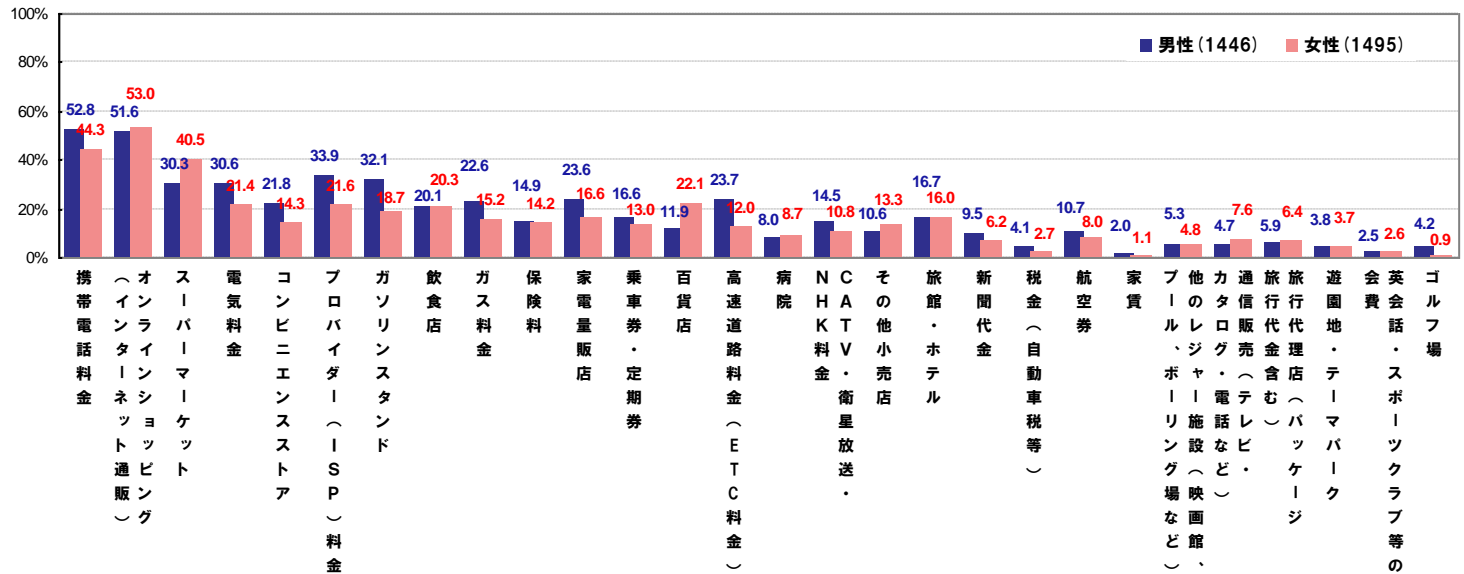
$$\text{クレジットカード利用割合} = \left[\frac{\text{3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種}}{\text{3ヶ月以内に支払いをした業種}} \right]$$

一般的に、男性の方が支払時にカードを利用している。
ただし、「スーパーマーケット」や「百貨店」などでのカード利用は、女性が男性より高い。

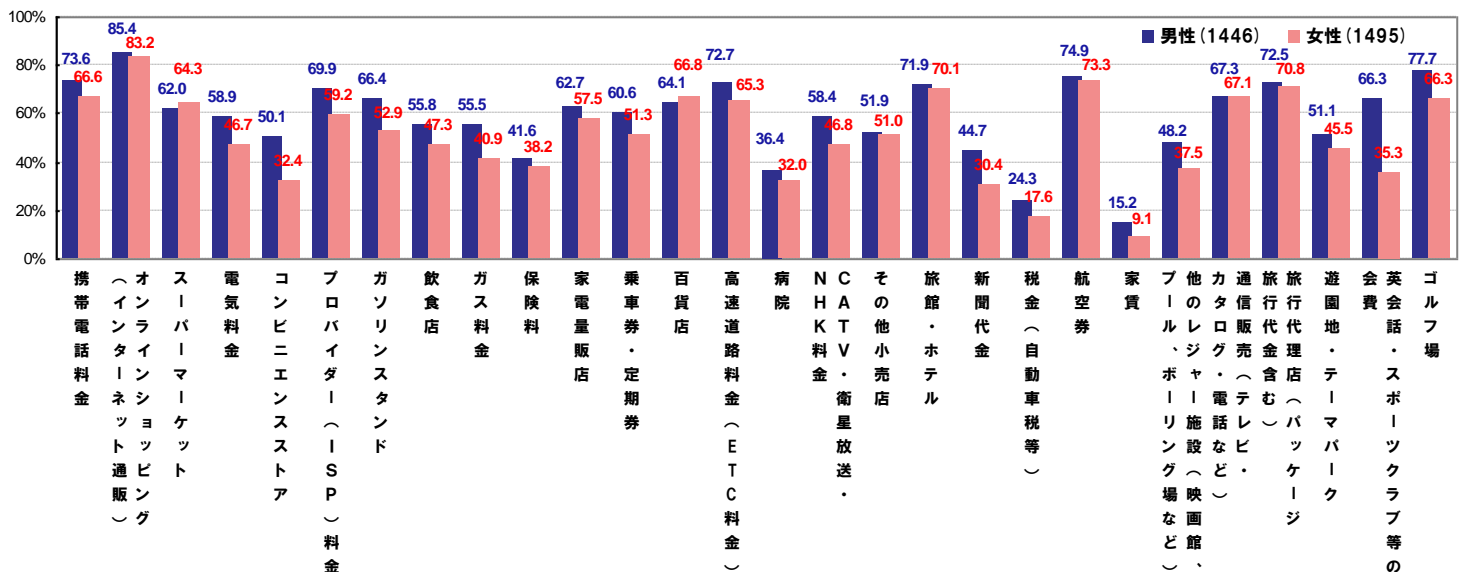
■ 3ヶ月以内に支払いをした業種



■ 3ヶ月以内にクレジットカードで利用した業種



■ クレジットカード利用者の割合



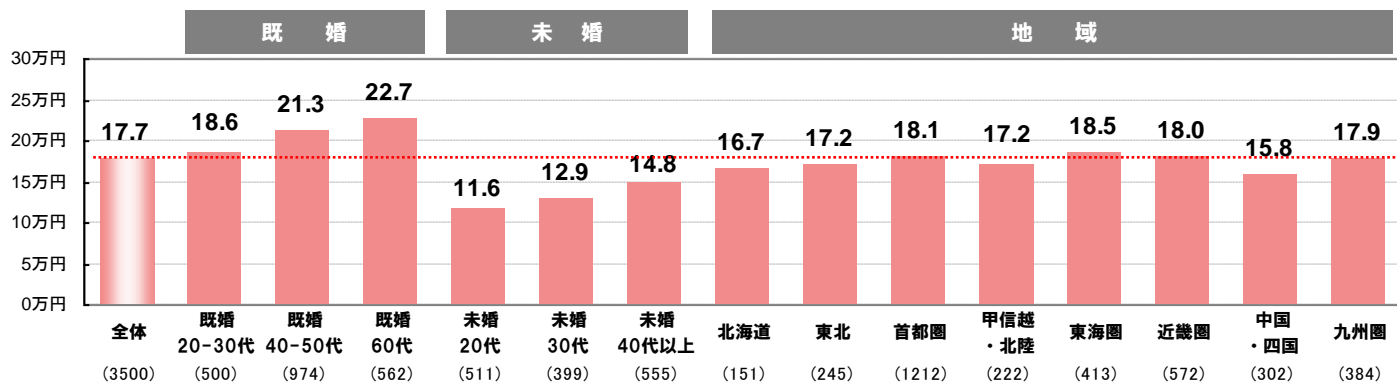
8. 月平均生活費とクレジットカード利用額

世帯あたりの月平均生活費は17.7万円。そのうち平均5.3万円はクレジットカードが利用されている。

- 世帯あたりの月平均生活費は17.7万円。既婚世帯や、年齢が高い層ほど生活費は高く、地域別では東海圏が18.5万円で最も高い。
- 世帯あたりの月平均クレジットカード利用額は5.3万円。未婚世帯は4万円以下と低い。東海圏はカード利用額も6.0万円で最も高い。

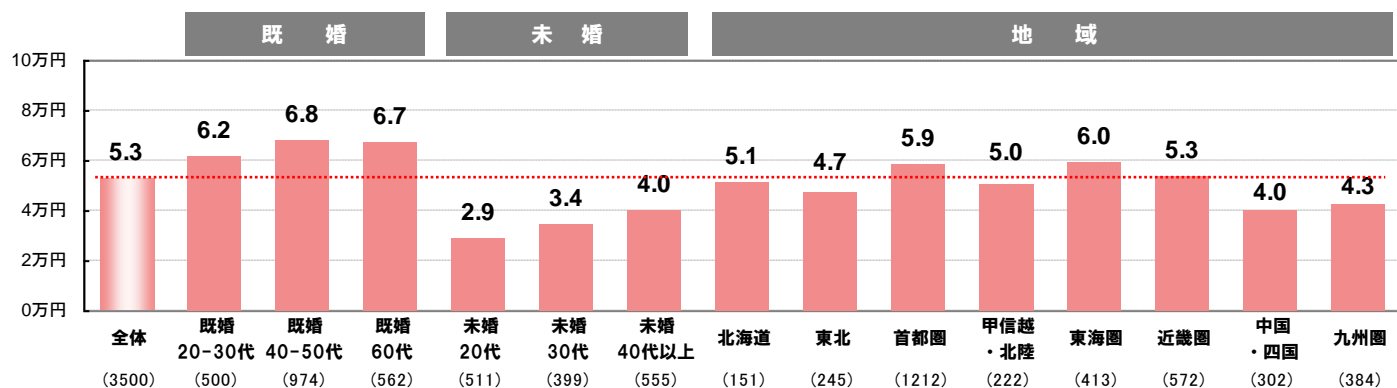
■ 世帯あたり月平均生活費【属性別】(N=3500)

2015年



■ 世帯あたり月平均クレジットカード利用額【属性別】(N=3500)

2015年

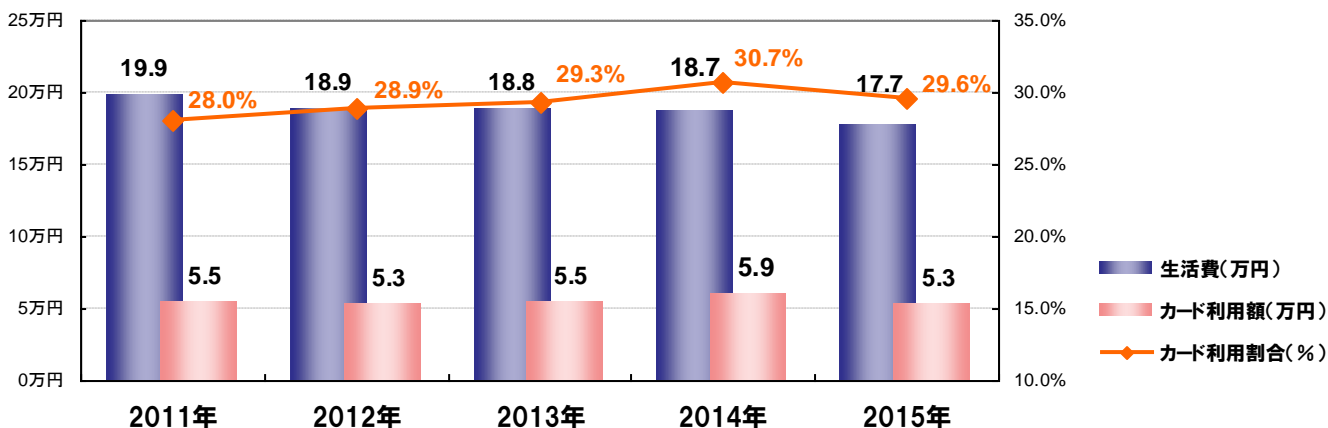


月平均生活費は昨年比で1万円減少。クレジットカード利用額は、6,000円減少している。
クレジットカード利用割合は約3割。

- 世帯あたりの月平均生活費は、2015年は昨年比1万円の減少の17.7万円。月平均クレジットカード利用額は昨年比6千円減の5.3万円。生活費に占めるクレジットカードの利用割合は29.6%。

■ 世帯あたり月平均生活費 / カード利用額 (N=3500)【経年】

※カード利用割合(%)は、世帯あたりの月平均生活費に占めるカード利用額の割合である。回答者個別のカード利用割合を算出し、その平均値を採用した

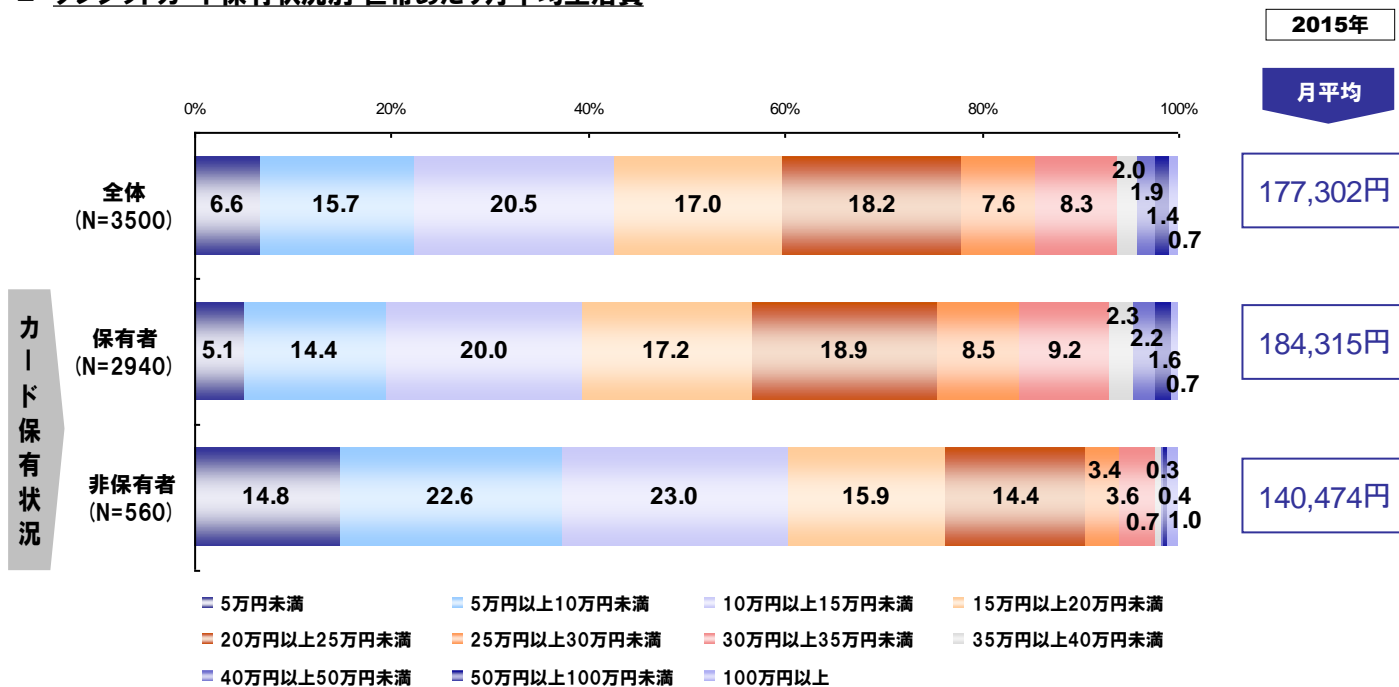


9. 月平均生活費とクレジットカードの保有状況

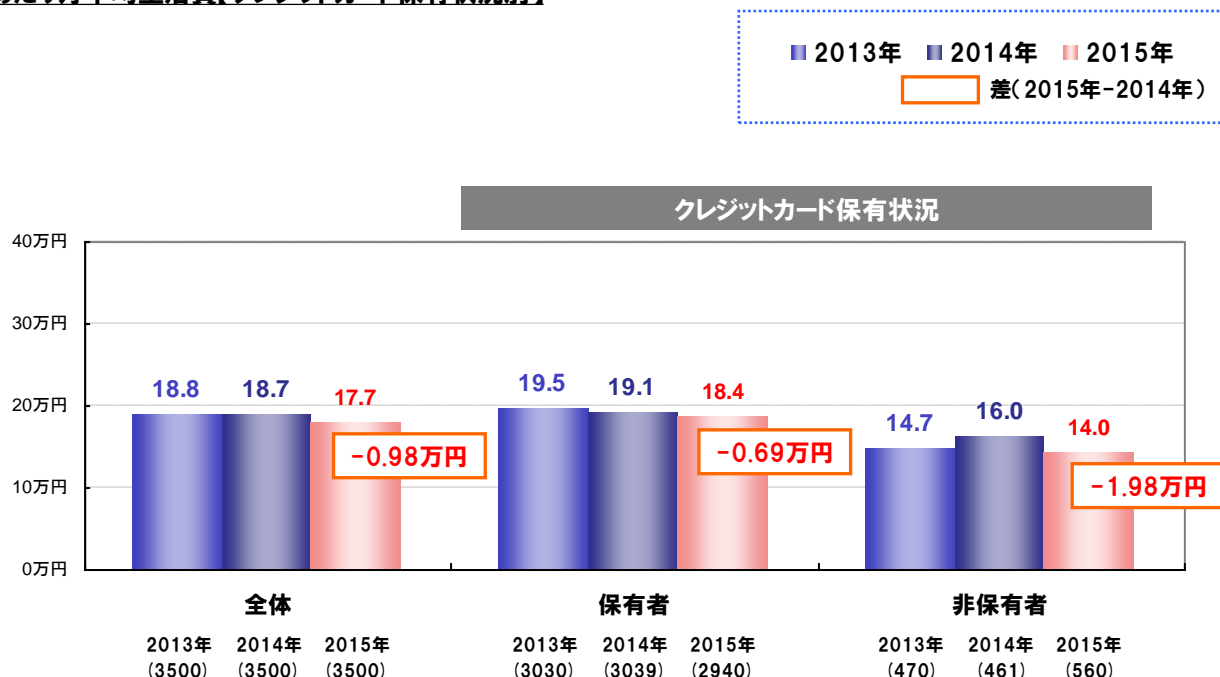
クレジットカード保有者の月平均生活費は18.4万円、非保有者の月平均生活費は14.0万円。

- クレジットカードの保有・非保有別に見た月平均生活費では、保有者が月平均18.4万円で非保有者(14.0万円)を月4.4万円上回る。クレジットカードの保有状況と、世帯あたりの月平均生活費には、相関関係があると考えられる。
- 世帯あたり月平均生活費は、昨年比で9,800円減少。クレジットカード保有者では6,900円減少。非保有者は1万9,800円減少しており、減少額が大きい。

■ クレジットカード保有状況別 世帯あたり月平均生活費



■ 世帯あたり月平均生活費【クレジットカード保有状況別】

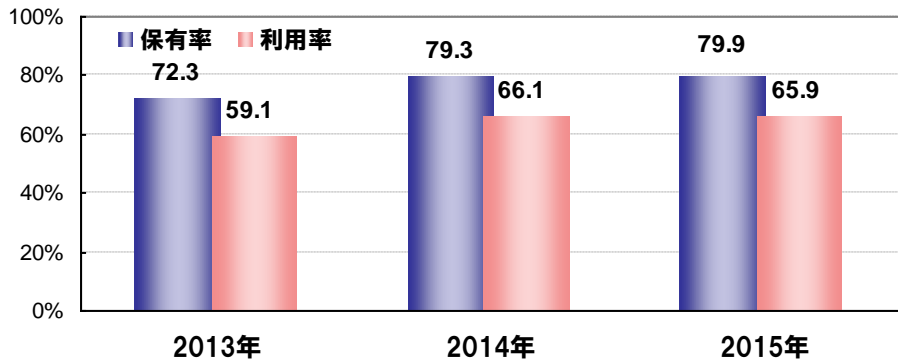


10. 電子マネーの利用状況

電子マネーは保有率、利用率とも昨年から大きな変化はみられない。
電子マネーは、「鉄道・地下鉄・バス」、「コンビニエンスストア」での利用が多い。

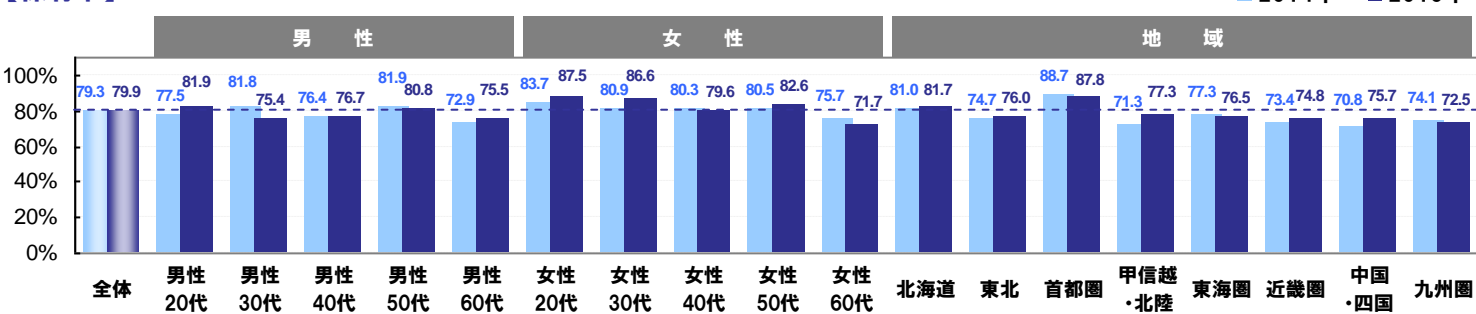
- 電子マネーの保有率(79.9%)、利用率(65.9%)ともに、昨年から横ばい。2015年は女性20~30代の保有・利用が高く、地域別では首都圏の保有・利用が高い。
- 電子マネーで支払いをしている業種は、「鉄道・地下鉄・バス(46.6%)」が最も高い。次いで「コンビニエンスストア(44.0%)」が4割を超えて続く。

■ 電子マネー保有率/利用率 (N=3500)

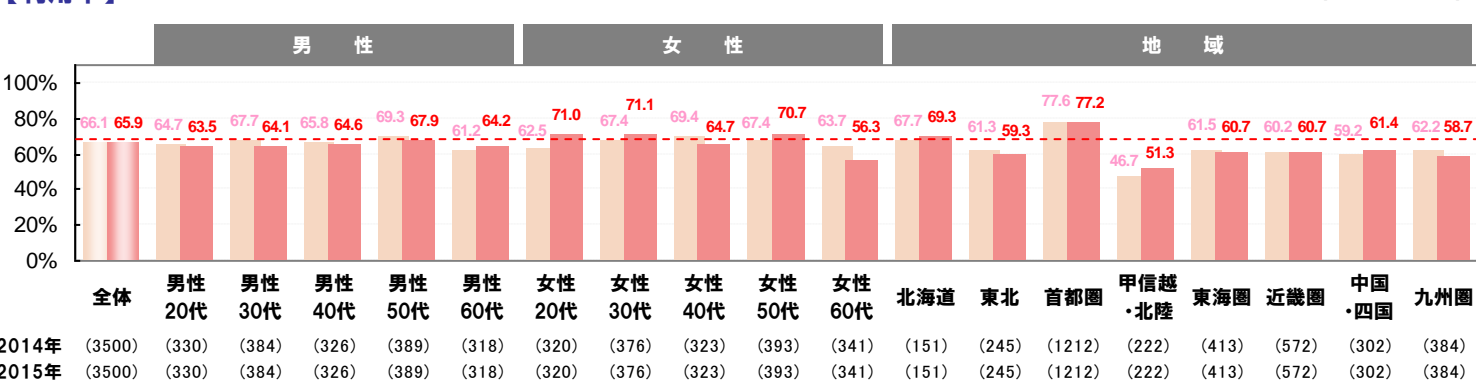


※本調査で電子マネーは「楽天Edy(エディ)」、「Suica・ICOCA・Kitaca・TOICA・SUGOCA・PASMO・manaca・nimoca・はやかけん」などの交通系電子マネー、「PiTaPa(ピタパ)」、「nanaco(ナナコ)」、「WAON(ワオン)」、「iD(アイディー)」 ※DCMXmini含む、「QUICPay(クイックペイ)」、「その他電子マネー」の保有・利用状況から電子マネー全体の保有・利用率を算出した

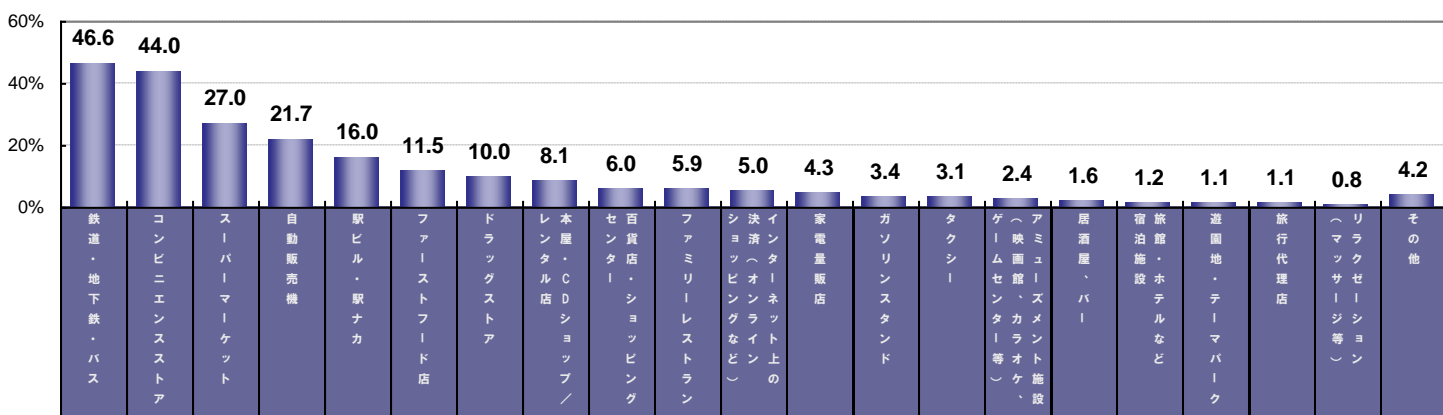
【保有率】



【利用率】



■ 電子マネー利用業種 (N=2796:電子マネー保有者) 【2015年】

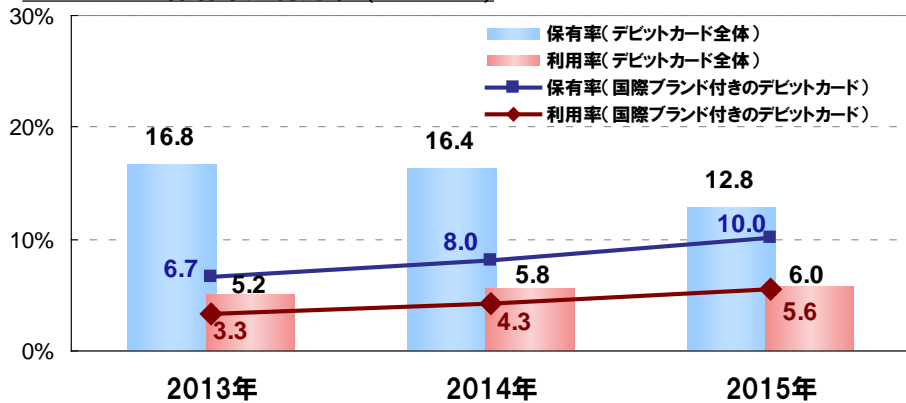


11. デビットカードの利用状況

デビットカードの保有率は13%で昨年から減少。利用率は2013年から微増傾向がみられる。
最も利用しているのは男性40代。

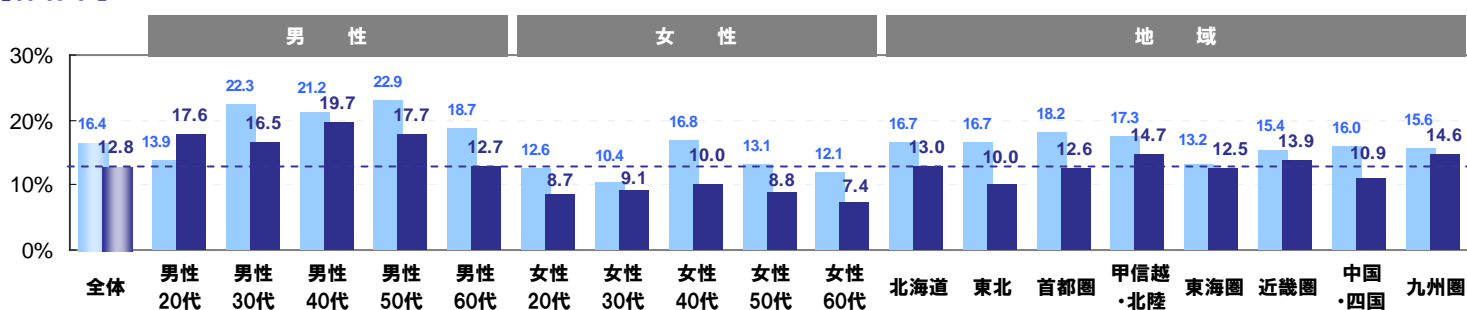
- デビットカードの保有率は12.8%で昨年から減少している。属性別でも全体的に保有率が減少しているが、男性20代は増加している。
※国際ブランド付きのデビットカードの保有率は10.0%で、昨年から2.0ポイント増加している。
- 利用率は6.0%であった。男性20代・40代は増加しており、利用率が高くなっている。
- デビットカードに入会した理由は、「金融機関のキャッシュカードについてきたため（54.8%）」が最も高い。

■ デビットカード保有率/利用率 (N=3500)

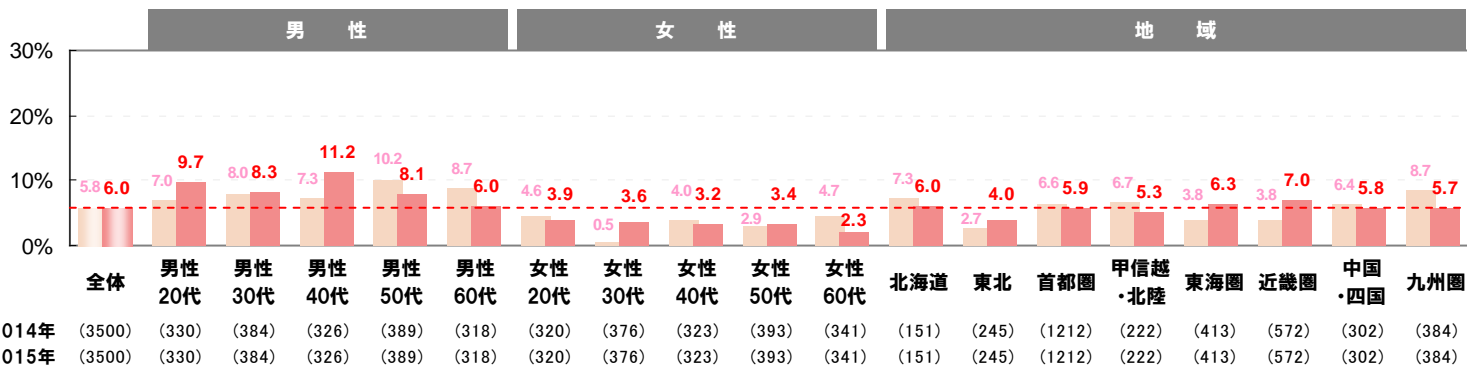


※デビットカードは本調査中で以下のように説明している。「金融機関の口座から即時引き落としで現金不要、口座残高の範囲でのご利用となるため使い過ぎることがない。金融機関で発行されたキャッシュカードなどにデビットカード機能が付帯しているものもあります。」

【保有率】



【利用率】



■ デビットカード入会理由 (N=449:デビットカード保有者) 【2015年】

